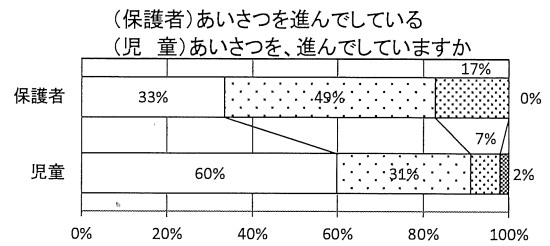
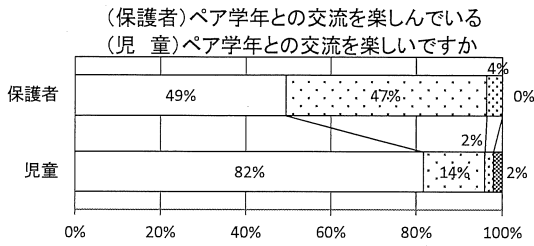
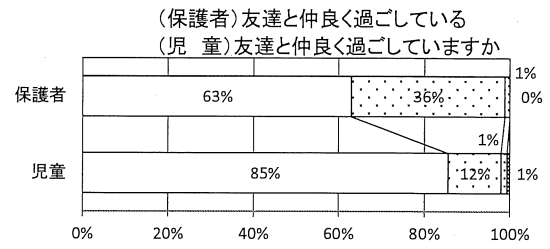
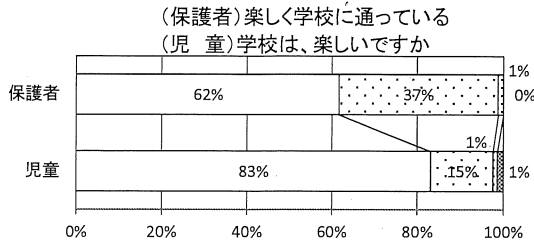
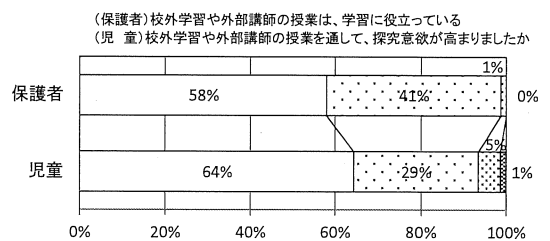
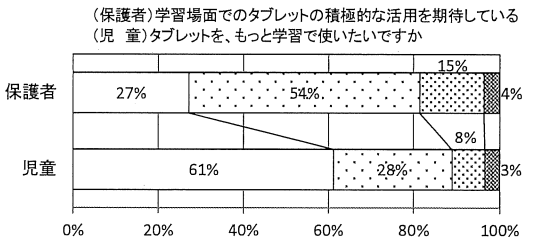
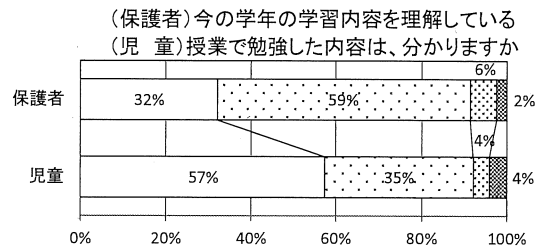
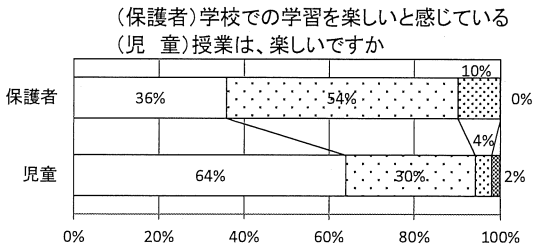


12月に行いました「学校教育に関するアンケート」にご協力いただきまして、ありがとうございました。その集計結果を、児童アンケートの結果とともにお知らせいたします。

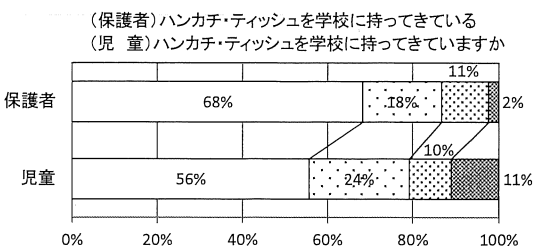
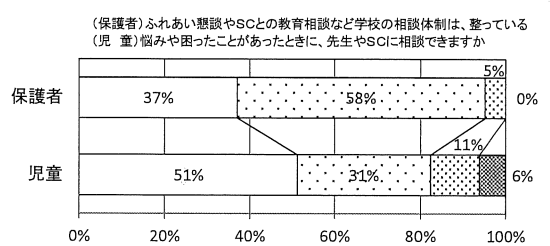
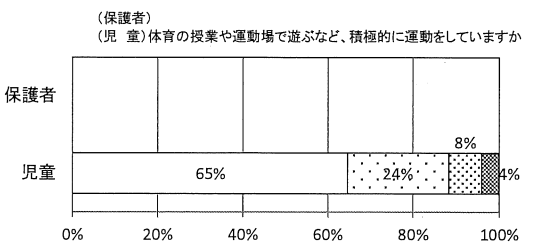
【自他の尊重】



【深い学びの実現】

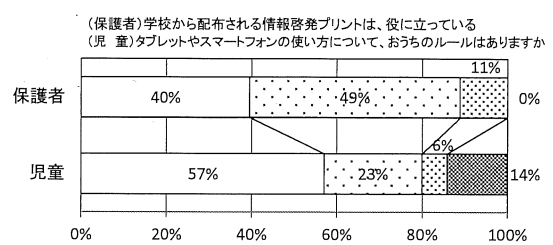
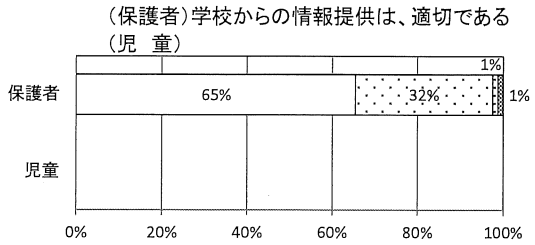
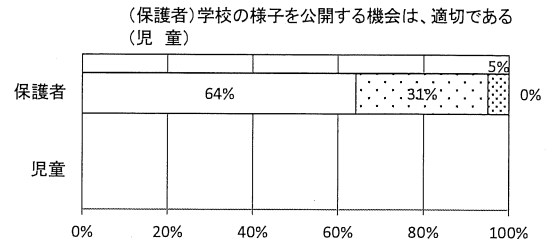
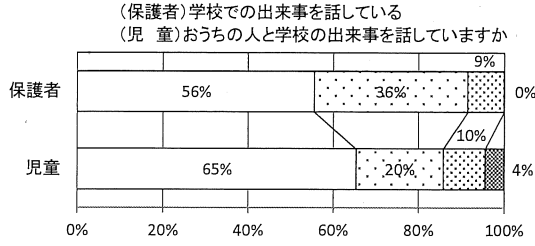


【健全な心身の育成】

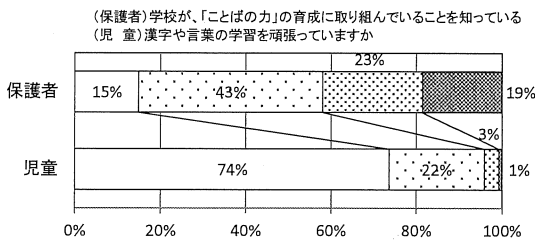


□ はい
□ どちらかといえば
□ どちらかといえば
■ いいえ

【家庭との連携】



【学校努力点】



- はい
- ▣ どちらかといえば
- ▤ どちらかといえば
- いいえ

令和5年度グランドデザインに掲げました重点目標等における取組について、「学校教育に関するアンケート」等を資料として、教職員による学校の「自己評価」を行いました。その結果を分析とともにお知らせいたします。

【自他の尊重】

評価項目	評価指標	4段階評価	分析
いじめ防止等の心の教育	いじめのない学級・学校づくりを目指し、いじめ防止に向けた指導や活動を行う。	3. 3	<p>児童アンケートの結果から、児童は学校生活を楽しく、友達と仲良く過ごしていることが分かります。いじめ防止については、道徳や学級活動で、いじめ防止教育プログラム等の授業を行っています。また、道徳の授業では、多様な考えがあることを知る授業を行っています。</p> <p>1・6年、2・4年、3・5年のペア学年活動では、朝の時間に一緒に遊んだり、ペア遠足、作品展でのペア鑑賞会を行ったりしました。ペア活動を通して、交流の輪を広げました。来年度も、ペア学年活動の充実を図っていきます。</p>
自殺予防等の命を大切にす心の育成	自他の命を大切し、自他の存在を尊重する心を育てる。	3. 2	
支え合い、認め合う学級づくり	互いに関わり合い、支え合い、認め合うことを基盤とした学級づくりを行う。	3. 2	
異学年と協働する集団活動	ペア学年活動の充実を図る。	3. 3	
あいさつの励行	あいさつを習慣化できるように指導や活動を行う。	3. 2	

【深い学びの実現】

評価項目	評価指標	4段階評価	分析
個別最適な学びの充実	指導方法を工夫改善し、個に応じた指導(指導の個別化と学習の個性化)の充実を図る。	3. 1	<p>児童アンケートの結果から、校外学習や外部講師の授業などの体験的な活動が学習意欲を高めることにつながっていることが分かります。コロナウイルス感染症の心配が軽減したことで、今年度は各学年で校外学習に出掛けたり、外部講師を招いて授業を行ったりする機会を増やすことができました。保護者アンケート結果からも、校外学習や外部講師の授業への期待が高いことがうかがえます。来年度も、体験的な活動の充実を図っていきます。</p>
協働的な学びの充実	児童同士が教え合い、学び合う協働的な学びの充実を図る。	2. 9	
「なかまなビジョン」の学習過程に基づいた授業	課題を明確にし、意見の交流を図り、振り返りを大切にする指導を行う。	2. 9	
I C Tの効果的な活用	学習者用タブレット端末を効果的に活用する。	2. 7	
体験的な活動の充実	実習や実験などのリアルな体験を通じて学ぶ体験的な活動の充実を図る。	3. 0	

【健全な心身の育成】

評価項目	評価指標	4段階評価	分析
主体的な体力づくり	進んで体を動かすようなしくみづくりや環境整備に取り組む。	3. 2	<p>児童アンケートの結果から、児童は、悩みや困ったことがあったとき、先生やSC(スクールカウンセラー)に相談できると感じていることが分かります。7月と12月に、学級担任が児童一人一人と個別に10分程度話す「ふれあい懇談」を行っています。4～6年生では、SCが児童一人一人と話す時間を設けています。これらを通して、児童は、相談できる大人の存在を実感することができたと考えます。来年度も、これらの相談体制を継続していきます。</p>
継続的な体力づくり	体力づくりに効果のある運動を、体育の授業で継続的に行う。	3. 1	
相談体制の整備	相談につなぐ体制を整備するとともに相談活動を充実する。	3. 3	
望ましい生活習慣の形成	感染症の予防と自ら健康管理ができるような望ましい生活習慣の形成を図る。	3. 2	
情報モラル教育の推進	I C Tの正しい活用の仕方を指導する。	3. 1	

【家庭との連携】

評価項目	評価指標	4段階評価	分析
学校の様子が分かる情報提供	学校の様子が分かる情報を提供する。	3. 5	保護者アンケートの結果から、学校が毎月発行する「情報啓発プリント」が役立っていることが分かります。「情報啓発プリント」の配布日に、学校では児童に情報モラル教育を行っています。タブレット端末やスマートフォンなど、児童がICT機器を扱う機会が年々増えています。来年度は、家庭とより一層、情報モラル教育の連携を図っていききたいと考えます。
開かれた学校	学校の様子を公開する機会を適切に設ける。	3. 4	
ICTを活用した情報提供	学校からの情報を、ICTを活用してデジタルデータで提供する。	3. 5	
情報モラル教育の連携	家庭と協力して情報モラル教育に取り組む。	2. 9	

【働き方改革・教員の資質向上】

評価項目	評価指標	4段階評価	分析
業務改善の推進	様々な業務について課題を共有し、児童・教員にとってよりよい教育活動・学校環境を目指す。	3. 1	教員が児童一人一人に向き合う時間を増やせるよう、業務改善を含めた働き方改革は、喫緊の課題となっております。業務の軽減・協働など、知恵を絞って取り組んでいきたいと考えます。 また、教員の授業力・資質の向上に向けて、校内外の授業を参観することを奨励していききたいと考えます。
協働的な働き方の推進	チーム学校・学年を意識し、校務分掌や学年分掌の協働化に取り組む。	2. 8	
授業力の向上	授業研究を行うことで、授業力の向上を図る。	2. 9	
資質の向上	研修・研鑽に励み、資質の向上を図る。	3. 0	

【学校努力点】

評価項目	評価指標	4段階評価	分析
漢字を含む語彙力の向上	漢字や様々な言葉に触れる活動を行う。	3. 7	「高めよう ことばの力」をテーマに朝の学習時間を中心に、これまでに習った漢字を復習して定着を図ったり、漢字クイズや漢字かるたなど楽しみながら学習したりと各学年が工夫して取り組みました。児童アンケートの結果から、児童が意欲的に取り組んだことが分かります。来年度は、自ら進んで取り組む力も育てていきたいと考えます。
漢字力の向上	楽しく漢字学習に取り組む機会を設ける。	3. 3	
文書を書く力の向上	行事等の後、心境を記録する活動を行う。	3. 2	

《学校関係者評価委員会より》

児童の学習の成果を保護者に発表する機会を大切にしてほしいというご意見をいただきました。今年度は、授業参観や作品展、運動会などの発表の場を設け、実施してまいりました。今後は、よりよい発表の場となるよう創意工夫をしていききたいと考えています。

また、家庭と連携して情報モラル教育を進めていくことの大切さをご指摘いただきました。毎月発行している「情報啓発プリント」の取り組みを継続してまいりたいと考えています。